

佐賀県保険医協会 第43回定期総会



総会終了後に会場参加者で記念撮影

第43回

定期総会開催

8月31日(土)佐賀市のマリタール創世にて、第43回佐賀県保険医協会定期総会を開催しました。会場参加15名、WEB参加4名と委任状191通でした。

総会

古賀聖祥常任理事による開会あいさつで始まり、藤瀬恭平常任理事を議長に選出し、物故会員への黙とう後、藤戸好典前会長があいさつを行いました。その後古賀俊六理事より祝電メッセージ等の披露がありました。議事に入り、まず中山利浩前副会長による2023年度活動報告がなされました。

内容は、ホームページでの公示、投票権の平等徹底、定数内候補者の取り扱いについてです。採決に移り、活動方針、予算案、役員選挙規定改定についていずれも可決されました。

最後に中山利浩新会長より就任あいさつがありました。またこれまでの藤戸先生の労をねぎらい感謝状が贈られました。

※総会へ祝電・メッセージをいただいた方のご芳名を2面に掲載しています。



発行所 佐賀県保険医協会 佐賀市駅前中央1-9-45 (大樹生命ビル4F) 電話 0952(29)1933 FAX 0952(23)5218 HP http://saga-doc.jp

協会会員数 内科 653人 歯科 330人 合計 983人 (7月31日現在)

主な記事

- ・ 医科研究会「糖尿病外来での私の工夫」... 3面
・ 医療安全対策等学習会... 3面
・ 保団連 第53回 夏季セミナー... 4面
・ 法律相談「工物責任」について... 5面
・ 共済部だより 3大共済制度・輪旋事業等のご案内... 6面

会員とともにさらなる飛躍を目指して



会長 中山利浩

藤戸好典先生には16年もの長きにわたって、佐賀県保険医協会の発展に会長としてご尽力いただきました。2022年の定期総会の場で、あと1期2年で会長職を辞したいとの意志表示があり、今回の第43回佐賀県保険医協会定期総会において、私が藤戸会長に代わり新会長に就任させていただきました。

今までは副会長として、藤戸会長の補佐を行ってまいりましたが、マイナ保険証問題、オンライン資格確認問題、レセプトオンライン請求義務化問題、令和6年度診療報酬改定問題等、大きな問題が山積みされている現在、自分が協会会長という重責を担う事が出来るのか、不安しかないというのが正直な気持ちであります。またまだ、藤戸前会長の足下にも及ばない若輩者ではございますが、少しでも会員の皆様にご理解・ご満足いただける協会活動を一歩ずつ進めていきたいと思っております。

佐賀県保険医協会は、保険医の生活ならびに権利を守り、県民と協力しながら県民医療の向上を図ることを目的としております。度重なる社会保障費の削減により、私たち医療機関の経営は逼迫し、さらなる追い打ちをかける今回の診療報酬改定により、

曙

8月末、台風10号が九州を縦断しました。予報では史上最強クラスの危険性を伴いながら、進路はコロナコ交わり、移動速度も遅く、自分の住む地域にいつ接近するのかわからないという、これまでになく迷走ぶりでした。そんな中、多くの医療機関が診療をどうすべきか大いに悩まれたことと思います。結局、当院は1日半の休診としましたが、当地区に限って言えば、過ぎてみれば生活への支障もほとんどなく、いわゆる「空振り」に終わりました。もちろん、多少の損失や手間は発生しましたが、それでも翌日に普通に出勤できているスタッフの姿、患者さんの「ホッとしたり」という声を聞くと、やっぱり備えておいてよかったと思えました。▼きつたと思いませんか▼きつた、うちが空振りです。ただの、普段からインフラを整備したり、情報を届けたりしてくれる方々のお陰です。先日の地震の時もそうでしたが、最近はず報が足りずに被害が出て文句が出るように、日々努力を重ねております。その他にも、診療報酬改定時の説明会や日常診療における保険診療に対する相談への回答、日常診療向上に役立つ研究会や従業員の接遇研修会、さらには医療機関経営における労務・税務相談への対応、保険審査や個別指導問題に対する相談に至るまで多岐にわたる活動を行い、皆さまに信頼される協会を目指し、役員・事務局一同、日々努力しております。

これからも、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。(鹿島市 古庄 龍史)